

幼児教育長期派遣通信 2学期号

発行 令和2年12月25日

坂町立横浜小学校 舞 幸江（派遣園：社会福祉法人微妙福祉会坂みみょう保育園）

研修を通して1学期は、子供たちの毎日の遊びに「学び」があることを知り、遊びを通して、育成したい3つの資質・能力が育まれていることが分かりました。子供たちは、獲得した力を使い、遊びを広げたり、つなげたりしながら遊びを発展させていることも感じ取ることができました。

2学期号では、これまでの研修を通じて理解できた、①誤解していた幼児教育について、②小学校につながる幼児期の学びについてお伝えします。

1 2学期の研修内容

(1) 園内研修

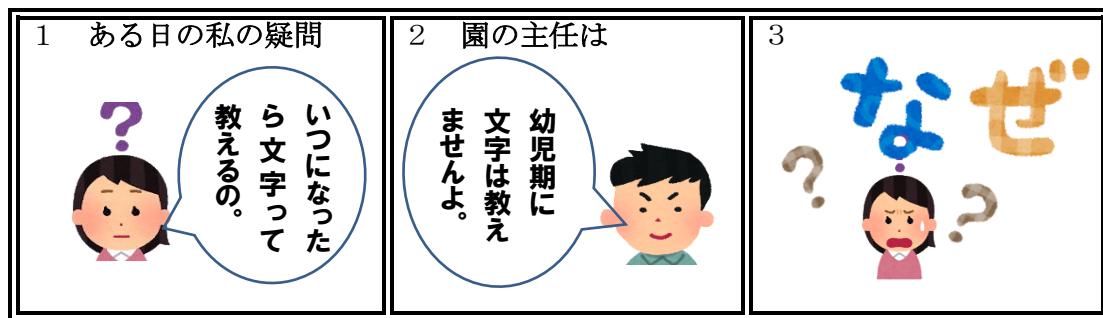
0歳児～5歳児の様子を観察し、5つの力を手掛かりに小学校での育ちと学びへのつながりを考察 環境の構成、保育内容や保育者の意図についての考察 園内行事への参加（運動遊びの会、アート展） 事例研修（2歳児、3歳児、4歳児の保育から）

(2) 園外研修

幼児教育理解に係る研修会 接続に係る研修会 長期派遣研修報告会 入学予定園児の園所参観と1年生との交流会参観

2 研修を通して

① 誤解していた幼児教育



幼稚園教育要領（平成29年告示）第2章には



環境

- ねらい (3) 身近な事象を見たり、考えたり、扱ったりする中で、物の性質や数量、文字などに対する**感覚を豊かにする**。
- 内容 (10) 日常生活の中で簡単な標識や文字などに**関心をもつ**。
- 内容の取扱い (5) 数量や文字などに関しては、日常生活の中で子供自身の必要感に基づく体験を大切にし、数量や文字などに**関する興味や関心、感覚が養われるようにすること**。

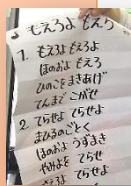
と書かれています。（保育所保育指針にも同じような記述があります。）

このように園・所では、文字を習得させるのではなく、興味・関心をもたせることをねらいとしています。決まった時間に決まった文字や言葉を教えたり、読み・書きの練習をしたりするものではありません。保育者は、生活の中で子供たちが興味をもてる環境を整えたり、子供の遊びの様子やつぶやきから年齢に合わせた関わりをもたせたりしながら、子供たちの意欲を大切にしています。

（例）文字に興味をもたせるための園の取組

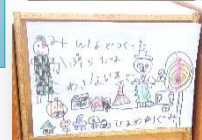
言葉や文字に触れる機会をつくる

- 絵本の読み聞かせ
- 言葉あつめゲーム
- 歌詞カードを掲示
- 話合いの内容を絵と文字で表す。



子供の思いを可視化する

- 看板づくり（しらせたい！）
- マーク調べたい（さがしたい！）
- 手紙（つたえたい！）



小学校の指導者が園の取組を知っていることで…



園・所での学びと小学校での学びをつなげると、より文字に関心をもてる。正しい書き順で書くことの良さに気付くことができる。もっと知りたい、使ってみたいという思いをもち、学びを深めていくことができると考えられる。

幼児期の学びを大切に、小学校では教科のねらいや付けたい力を明確にして学習活動を計画・実行していかなくてはならない。

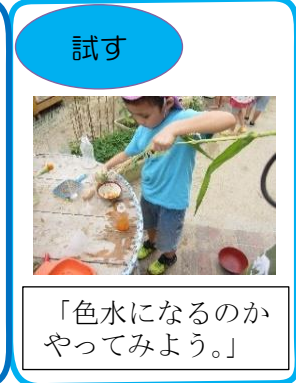
「言葉あつめゲーム」と結び付けて考えているんだな。
「看板づくり」での体験や学びを活用して考えているな。
新たな気づき、興味・関心をもっているな。

② 小学校につながる学び

園所の子供たちが何に興味や関心をもち、どんなことを考えているのかを意識的に見てみよう！

子供たちは、活動を通して興味・関心を広げ、多くのことを学んでいる！園所の子供たちの学びを小学校での学びへ、どのようにつなげていけるのかという視点で捉えてみよう！

子供たちの活動の様子を意図的に観察してみると、子供たちは気付いて、試して、比べて、工夫していることを見取ることができました。これは、生活科等の学びにつながります。



子供たちは、園庭や部屋で時間の許す限り自分が見つけた遊びで遊びます。それ以外にも種蒔き、絵の具遊び、虫探しなどの活動を体験します。遊んだり、体験や経験をしたりする中で、比べる、試す、工夫する等、沢山の思考を巡らせています。子供たちは「やってみたい。」「どうなるのかな。」「こうしてみると…。」など、自身の思いや願いをどんどん膨らませ、進んで学びに向かっています。幼児期の学びを知り、子供たちの興味・関心を生かし、園・所での学びを小学校で発揮できるようにしていきたいです。

3 まとめ

幼児教育を少しずつ理解できるようになってきたことで、幼児期と児童期の学びのつながりが明確になり、子供たちに必要な支援が見えてきました。これから更に成長する子供たちの姿を観察しながらこれまでの学びが生かされるスタートカリキュラムを計画していきたいです。

〈乳幼児教育支援センターより〉
幼児期の遊びは、小学校以降の基盤となる資質・能力につながっています。それらを知り、子供たちがもっている力を引き出すために、園・所と小学校の先生方が連携し、子供の様子やお互いの教育・保育内容や指導方法等を知り、自分たちの教育・保育を見つめ直すことが大切です。